

ブラジル北海道移民１０５周年  
ブラジル北海道人会創立８５周年記念式典における林大使ご挨拶  
２０２４年８月２５日（日）１０：００～

平野 オストン .ブラジル北海道文化福祉協会会長  
天沼 宇雄 北海道庁公営企業管理者  
稲村 久男 北海道議会副議長  
ご臨席の皆様

ブラジル北海道移民１０５周年、及び北海道人会創立８５周年を迎えられ、北海道庁関係者の皆様参加を得て記念式典が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。

様々な困難を乗り越え今日の繁栄を築き上げた先人の皆様、その先人の意思を継いだ２世、３世、４世、そして新世代の日系人の皆様に日本国大使として改めて深甚なる敬意と感謝の意を表します。

ブラジル北海道文化福祉協会は、北海道とブラジルを結ぶ大切な絆です。これまで技術研修や留学生等を通じて、道と長年交流を続けてこられたと承知しています。

日本とブラジルの交流については、去年からブラジル人の日本への短期渡航について査証免除も始まり、昨年比で６割以上ブラジル人訪日客等が増えています。私も北海道が大好きで、すでに１０回以上訪問していますが、北海道は札幌、函館、ニセコ、知床、利尻・礼文島など観光資源が大変豊富です。ブラジル人に更に北海道を訪問してもらうべく、北海道の魅力をさらに PR していきたいと考えています。

また、今年初めからホタテをはじめとする北海道特産品を輸出、販売を促進するために、政府一体となって取り組んできております。１月には農水省が中心になり、サンパウロで北海道産ホタテの PR イベントを行ったほか、７月には、JICA や北海道文化福祉協会等のご支援を得て、初めて B to B の物産展をサンパウロで開催しました。私も出席させていただきましたが、北海道からは、味噌、製麺、ホタテなどを販売する３社にご参加いただいたと承知しております。

加えて、５月に岸田総理が訪伯された際には、サンパウロでの総理の昼食に、北海道文化福祉協会から、北海道産のホタテの貝焼きを特別に提供いただきました。昼食時に私から総

理に、「これは北海道から輸入したホタテです」とご説明申し上げたところ、時間が限られた中で、総理は喜んでお召し上がりになり、「大変おいしいね」と仰っておられました。これからこうした努力を継続し、北海道のよいものを更にブラジルで普及、販売していきたいと考えておりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

最後になりますが、北海道の皆様、北海道人会の皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

(了)